

関根潤三氏追悼展示

本年4月、OBクラブ会員で、2003年野球殿堂入りの関根潤三氏がお亡くなりになりました(享年93歳)。関根氏は法大で当時歴代2位の41勝を挙げた左腕投手で、1950年、日大三、法大を通じての恩師である藤田省三監督の新球団・近鉄パールズ監督就任に合わせ、近鉄に入団。54年には自身最多の16勝をあげましたが、保有選手数が当時はまだ少なく(近鉄は52年までは30名足らず)一塁手や代打としても出場しており、いわば“二刀流”の選手でした。

57年の開幕直後、得意としていた西鉄戦で打たれ投手としての「限界」を感じた関根氏は野手への転向を申し出、以降は外野手として活躍。打率ベストテン入りを4度記録し、63年には通算1000安打を達成しました。65年に巨

人へ移籍し、V9(9年連続日本一)の1年目の優勝に貢献し引退。広島、巨人のコーチを経て、大洋、ヤクルトで監督を務めました。

当館ではご遺族よりヤクルト監督時代のユニホーム、近鉄選手時代のトロ

フィーをご出品いただきました。本展は11月1日まで開催予定です。著書の端々でも近鉄への愛着を語っており、OB会長も務めた関根氏の思い出のトロフィーをぜひご覧ください。

公益財団法人 野球殿堂博物館
学芸員 関口貴広

